



新年を迎え、早朝よりご家族の皆様と小さな可愛い子たちの祈願をさせていただきました。

今年うさぎ年です。卯(う、ぼう)は十二支のひとつで、通常十二支の中で第4番目に数えられます。「因幡の白兔」「兔と亀」「かちかち山」などの童話では、うさぎがどこか狡猾に描かれていますが、日本で月の模様を兔に見立てるようになったのは、仏教説話で献身のシンボルになっているからです。

平成23年元旦

半分コのパン

霜も溶けきり良く晴れた12月の或る朝、

お孫さんを伴って親子3世代のご家族がワンちゃんのご葬儀に来園されました。

斎場におきまして、ご家族皆様でお棺に納まりましたワンちゃんにお花と奥様お手製のパンを持たせてあげようとしておりました。

その時、幼いお孫さんが「ボクにもちょうだい」と、遠慮がちで小さな声で言いました。

奥様がお作りしたパンはお孫さんも亡くなったワンちゃんも大好きだったそうで、この時はご用意されたいくつかのパンの1つをご主人が手でちぎり、半分はお孫さんに手渡し、もう半分をお棺のワンちゃんに持たせてあげました。

お孫さんにはこやかにパンを頬張りながら、パパ、ママ、お爺ちゃん、お婆ちゃんと一緒にワンちゃんに最後のお別れをなさいました。



可愛いオーナメント

所用で市内在住で個人でお墓を持てれておりますご家族のお家に

お伺いしましたら、玄関に可愛いクリスマスツリーが飾られておりました。

お話を聞かせていただいた所、ツリーのオーナメントのモデルはこの方の

ワンちゃん達でありご家族がお作りされたのだそうです。

お正月の飾り等もあるそうで、ご家族のこの子たちへの愛情が形となって現れてるんだな、と感じました。



同級生

市内でご依頼によりご自宅へ訪問しました時のお話です。

亡くなりましたワンちゃんのお名前をお尋ねしましたところ、名付けの由来は十数年前に当時少年だった息子さんが同級生の方からそのワンちゃんを引き取り、名前もその方の姓字の一部から頂いたのだそうです。最初のうち同級生の方は怒っていたみたいでしたが、次第に息子さんのワンちゃんに対する愛情を見つけてその子の晩年には良い思い出話となっていた、と、ご家族のお母様が懐かしそうにお話しして下さいました。お仕事の関係で息子さんは葬儀にお出でになれませんでした。前日はその同級生の方と一緒にワンちゃんとの別れを惜しんだそうです。